



# JRE 関東 ひびき

JRE 関東地協 機関紙  
発行責任者 秋山順一  
編集責任者 佐藤定司  
港区東新橋 2-8-28

自らを変える!! 明日を創る!! **イ**-スト イノベーション

jrtu-eu

検索

## 19 春季生活闘争はじまる!!

**私たちの要求は定期昇給+3,000円**

**エルダー社員、契約社員も社員に準じて!**

**グループ会社社員、契約社員の賃上げに寄与を!**

## 関東交運労協は2月26日に決起集会開催!!

関東交運労協は20日、田町交通ビル6階ホールにて『2019春闘勝利決起集会』を開催しました。

JRE関東からは菊地副委員長はじめ2名で参加した。冒頭、執行部を代表して挨拶に立った滝沢議長は「巷間官製春闘等揶揄されている。今年は労働組合としての矜持を糺しシッカリ要求していこう」と決意を語った。各産別からの決意表明では、JR連合・私鉄総連・

KPU・国労・全自交・JR総連・自治労・運輸労連がそれぞれの諸課題・諸問題についての対策等が表明された。



## JR連合関東春闘集会に参加!!

2月28日 JR 連合関東地協は田町交通ビルで春闘勝利総決起集会を開催しました。



冒頭、杉本議長から挨拶の中で安全問題に触れ、JRは多くのグループ会社、協力会社があつて成り立っている。全てのJR関係労働者が安全に働ける様、究極の安全を目指そう。

また、民主化闘争については東労組の大量脱退によって発生した未加入者について、組合不要論が蔓延しているが、これは今まで入っていた組合が必要ないのであつてJR産業の持続的な発展のためには自由で民主的な組合は必要だと考えている。そしてJR連合の取り組む政策課題について、持続可能な交通体形を目指し多発している自然災害による被災から1日でも早く復旧

させるためにも重要な取り組みであると訴えました。

その後、連合東京・杉浦事務局長、関東交運・滝沢議長から連帯の挨拶を頂き、JR連合北村労働政策部長から2019春闘の情勢について講演が行われ、都県協、各単組から決意表明を受け、杉本議長の団結ガンバローで締め括られました。



各単組からの決意表明では佐藤JRE関東組織部長が今次春闘においては「組織春闘」と位置づけ取り組みを強化すると決意の一端を明らかにした。

賃金は一番の労働条件! 私たちは仲間のみなさんの声を会社にお届けしたいと考えます。

**さらに前へ! 自らの行動の後にしか道はできない!!**

